

GLOBAL MAPPING NEWSLETTER

第12号

目次

1. 地球地図国際運営委員会第5回会合
2. 第5回ISCGM会合の決議
3. 第3回全地球空間データ基盤会議(GSDI3)
4. 地球地図に関する国際ワークショップを開催
5. 地球地図及び関連の会合予定

地球地図国際運営委員会第5回会合



ISCGM第5回会合が、1998年11月20日にオーストラリア、キャンベラのハイアットホテル内、グリフィンズラウンジで開催された。AUSLIGが主催する本会合に30名が参加した。

会合の最初に委員長の選挙、新しい委員の承認など、運営上の事項が討議された。米国カリフォルニア大学サンタバーバラ校のジョン・E. エステス教授が委員長に再選され、マジツ氏が副委員長、永井信夫氏が事務局長、村上広史博士が副事務局長に指名された。カナダリモートセンシングセンターのロバート・オニール博士がフランソワ・フォーシェ氏がロバート・オニール博士の、オードナンス・サーベイのジェフリー・ロビンソン博士がデイビッド・ラインド教授のそれぞれ後任になることが発表された。南極研究科学委員会(SCAR)測地・地理情報作業部会(WG-GGI)委員長のドゥルー・クラーク氏と多目的ヨーロッパ陸地関連情報ネットワーク(MEGRIN)理事長のクラウド・ドルゼ氏が新しい委員に承認された。金窪敏知博士が顧問を辞し、ICA会長のマイケル・ウッド博士が新しい顧問に任命された。

続いて、ISCGMの活動、3つのワーキンググループ、「ISCGMの規約」など、様々な事項についての報告や討議が行われた。ISCGMの最近の活動報告のなかで、国連統計部長のハーバーマン氏は、ISCGMによる地球地図プロジェクトへの参加呼びかけの書簡を国連の推薦状とともに国家地図作成機関の長に送ったことを明らかにした。これはISCGMの重要な功績として注目された。

仕様に関するワーキンググループの活動では、バージョン1、バージョン2と発展してきた地球地図仕様案のバージョン3が提出され、委員会で採択されて地球地図仕様バージョン1.0と名付けられた。最後に本会合の成果として次ページに掲載の決議がまとめられた。

次回の会合は1999年7月24日に英国ケンブリッジにおいてケンブリッジ会議の直後に開催される予定です。

第5回ISCGM会合の決議

オーストラリアA.C.Tキャンベラ
1998年11月20日



地球地図国際運営委員会(以下、「委員会」という)第5回会合は、1998年11月20日に開催された。前回の会合で整備された仕様案とアクションプログラムを基に、委員会では西暦2000年までの地球地図整備に関する討議を深め、次のとおり決議した。

1. 地球地図を整備し維持することは、地球環境を保護し、持続可能な開発を達成し、人類の存在の基盤を確保するためのアジェンダ21に沿った主要な行動のひとつであり、21世紀における各国の重要な責務である。
2. 地球地図の整備は、国家地図作成機関の一つの核となる活動でなければならない。国家地図作成機関は、地球地図の構築において、適切な他の機関、研究所、組織と協力すべきである。
3. 委員会は、各国政府が国家地図作製機関に対して地球地図の整備に十分な財政的、組織的支援を提供するよう求める。
4. 委員会は、世界各国への地球地図プロジェクト参加呼びかけに対する国連の支援に感謝し、各国の参加を促進するためあらゆる努力を惜しまない。
5. 委員会は、全地球空間データ基盤活動の参加者の努力を認め高く評価する。我々は地球についてのしっかりした空間データフレームワークの整備を促進する彼らの活動を賞賛する。これらの取り組みと密接に協力、連絡、連携を続けることは、地球地図へのアクセスと効率的な利用を保証する上で貴重である。
6. 委員会は、GSDIとそのワーキンググループの活動との連携を促進する努力を承認する。そして、我々は、ISCGMの各ワーキンググループの長やその代表が、対応する適当なGSDIのワーキンググループの委員になることを推奨する。
7. 委員会は、ワーキンググループ2が整備した地球地図仕様バージョン3を地球地図仕様バージョン1.0として採択する。本ワーキンググループは、ISO/TC211などの関連分野における技術的、科学的進歩に適合するようこれらの仕様を維持管理すべきである。
8. 委員会は、本会議におけるCEOSの代表者の発表に感謝する。委員会は宇宙関連機関が地球地図プロジェクトと協力し、本プロジェクトに参加する国家地図作成機関に対して、リモートセンシング・データを実費で提供するよう奨励するため、CEOSと協力する。
9. 委員会は、1999年7月24日英国ケンブリッジにおいて、オードナンス・サーベイの主催により次回の会合を開催する。
10. 委員会は、オーストラリア測量土地情報グループがオーストラリア、キャンベラで第5回会合を非常に盛大に主催し、運営したことに心から感謝する。

第3回全地球空間データ基盤会議 (GSDI3)
AUSLIG, ボブ・アーウィン



第3回全地球空間データ基盤会議(GSDI)会議は1998年11月17日から19日まで、オーストラリアのキャンベラで開催された。アジア太平洋地域GIS基盤常置委員会(PCGIAP)が本行事の主催者である。オーストラリア測量土地情報グループ(AUSLIG)がPCGIAPの代表として本会議の組織運営にあたった。

本会議の主要な目標は、テーマである「GSDIのための政策的及び組織的枠組み」に要約されている。米国ノース・カロライナ州知事科学技術上級顧問ならびにGSDI運営委員会委員長のジェーン・スミス・パターソン女史は、GSDIのための「組織としての核」を設計し設立することに焦点をおくと強調して、参加者が世界中の空間データ基盤の取り組みを努めて理解し、GSDI構想を発展させ続けるよう求めた。

本会議には80名の参加があった。最も喜ばしいことは、世界中の国々から各界の参加があったことである。海外からは、カナダ、中国、コロンビア、イングランド、フィジー、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、インド、インドネシア、イラン、アイルランド、日本、マレーシア、ニュージーランド、北部アイルランド、スコットランド、南アフリカ、オランダ、米国の代表がキャンベラに集まった。また、国連の代表や開催国のオーストラリアからの多数の参加があった。

PCGIAP会長のアブドゥル・マジッ・ビン・モハメド氏が代表団をキャンベラに迎えた。マジッ氏は、会議の始めにおいて楽観的であり、関係者を励ました。それが十分に根拠に基づいていることが以後の日程における参加者の多大な貢献により証明され、参加者の努力により、GSDI構想と関連の活動に良い進展があるであろう決議がなされた。

オーストラリア連邦政府の産業・科学・資源担当政務次官のワレン・エンツ議員閣下は会議を開会するとともに、オーストラリア空間データディレクトリ(ASDD)のサービス開始を宣言した。

招待発表者とパネリストが行った主な課題発表は次の通りです。

- ・国家地理情報戦略の第1世代
- ・国家空間データ基盤における新しい進展
- ・GSDIの戦略的規範
- ・国家をまたがる取り組みのケーススタディ
- ・地理情報の商業化

「全地球空間データ基盤の枠組みに向けて」と題する論文がヨーロッパ地理情報全体機関(EUROGI)会長のマイケル・ブランドにより発表された。GSDIを進めるためにいくつかの示された組織的枠組みごとのメリット等、このレポートで取り上げられた課題が、その後参加者により討議された。最終セッションでは勧告と決議が討議された。

オーストラリア産業・科学・資源局局長のラッセル・ヒギンズ氏は発表の中で、GSDIの実現が地球規模の経済の発展と社会の安寧に大きく貢献する可能性を持つと強調した。

GSDIを支える地域的、国際的な取り組みの重要な役割が会議中に述べられるとともに、全地球モデルの整備において取り組まなければならない隔たりが世界中にあることが明確に理解された。

本会議の発表、まとめ、決議が下記のGSDIホームページに掲載されている。

<http://www.eurogi.org/gsd/index.html>

オーストラリア測量土地情報グループ局長のピーター・ホランド氏は、2000年の南アフリカにおけるGSDI会議まで、運営委員会議長の任にあたる。

第3回GSDI会議に合わせて、以下の会合が開催された。

- ・PCGIAP理事会会合が会議に先立ち開催された。
 - ・第5回地球地図国際運営委員会(ISCGM)会合が会議の後で開催された。
- また、会議の後にGSDI技術作業部会のプラン作りのための会議が開催された。

地球地図に関する国際ワークショップを開催

建設省国土地理院と科学技術庁の主催による地球地図に関する国際ワークショップが、1999年3月2日(火)から4日(木)までの3日間、つくば市で開催される。

このワークショップには、アジア地域の地球地図データ整備のために、アジア諸国の地図作成機関の専門家が招待される。日本側からは関係機関の研究者が参加する予定です。

ワークショップの初日には、地球地図の詳細と利用が発表され、参加者は技術上の障害となるものやその障害の解決法、地球地図整備実施上の課題、研究開発の目標について討議を行う予定です。

地球地図及び関連の会合予定

以下は地球地図及び関連の会合予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。“*”印の会合は、後日正式な確認がなされます。

1999年

- ・3月2日～4日、日本国つくば市
地球地図国際ワークショップ
- ・3月4日～5日、オーストリア、ウィーン
第8回ISO/TC211本会議
- ・4月19日～23日、中国、北京
第5回PCGIAP会議
- ・7月19日～23日、英国、ケンブリッジ
ケンブリッジ会議
- ・7月24日、英国、ケンブリッジ
第6回ISCGM会合
- ・8月14日～21日、カナダ、オタワ
第19回国際地図学会議
<http://www.ccrs.nrcan.gc.ca/ica1999/>
- ・9月29日～30日、日本、京都
第9回ISO/TC211本会議
- ・11月1日、オーストラリア、フリマントル
第6回東南アジア測量士会議
<http://www.isaust.org.au/40thcong/index.htm>

2000年

- ・<未定>
第15回UNRCCAP及び第6回 PCGIAP
- ・3月9日～10日、南アフリカ*

- 第10回ISO/TC211本会議
- ・本年の早い時期
第4回GSDI会議
- ・3月乃至4月、南アフリカ、ケープタウン
第28回環境リモートセンシング国際シンポジウム
- ・7月14日～26日、オランダ、アムステルダム
第19回ISPRS 会議
- ・9月28日～29日、米国*
第11回ISO/TC211本会議

[本号のニュースレターの先頭 に戻る](#)

[地球地図ニュースレター目次 に戻る](#)

URL: http://www1.gsi-mc.go.jp/iscgm-sec/news/ns_lttr_jpn-12.html
Any comments or requests would be appreciated.

Last modified: September 10, 1999